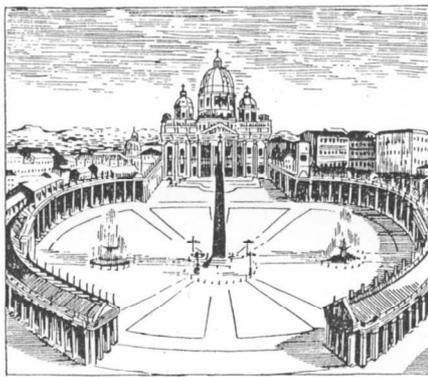




古屋司教認可 発行所 教区事務所 定価 一部 10円 予約 一年 100円

ローマの司教様より



親愛なる信者の皆様が公會議のため特に熱心にお祈りして下さっている事を、心から感謝申し上げます。こちらの様子はカトリック新聞やラジオ等で大体の事は御存知と思えますから記しませんが、少しは私信としてお知らせしましょう。

私共日本人司教は大部分は同じホテル(と云っても寄宿式のホテル)に泊っておりますので、夜は語り合ひ議論し合つてとても楽しいです。同ホテルはローマの北西の方でバチカンからは五キロ半位離れた所にあります。会議の往復は専用のバスで行きますが、勝手に町に行きたいときは普通バスで十二、三分位で行けます。料金は二十五リラ(十五円)です。こちらはパンがとておいしくて食事のときもパンが一番美味しい気がしました。

粒の甘いブドウが今盛りで、安く(一キロ八十位です)から)ピタミンの補給にふんだんに食べられます。ヒョータン型の西洋梨(ペアー)も日本の四分の一の値でいい香りのものが何処へ行っても売っております。近ければ皆さん一つづつでも送ってあげたい気がします。私共のホテルには、インドネシア、インド、マラッカ、タイの司教等八十名程も泊っております。だんだん顔も覚えて仲よくなつていきます。

今日はローマの北方、自動車で一時間余りで行けるチビタヴェッキオという町の日本二十六聖殉教者の捧献された聖堂で、列聖百年の記念の大歌ミサを山口、長崎大司教様が捧げられ、駐伊伊蘭大使、ヴァチカン別府大使御夫妻はじめ大勢の来賓も参列しました。シクスチン聖堂の男声コーラスも応援に来ましたからこの聖歌のすばらしい事、バスのすこい低音等日本の何処のコーラスでも聞かれない雄大なものでした。うらやましさの限りでした。今日はこの位におきます。皆様の上に主のゆたかな祝福をローマからお送りしつつ。 古屋司教



にあり、全世界に二三〇余の学校をもっている。同会経営の学校の卒業生の中には、教皇ピオ九世、元イタリア首相デ・ガスペリ、有名な画家ゴッダ等、多くの有名人名をあげる事が出来る。我が国へは一九五一年数名の司教が始めてスペインより渡来し、横浜に本部をおき、一九五五年四月三重県四日市市にエスコラピオス学園を開設し現在に及んでいる。本学園は中学校と普通科高校をもつ県下唯一の男子の学園であり、名称をそれぞれ海星中学校及び海星高等学校と呼ぶ。本学園は SCHOLAPIA (敬虔な学校) の名の示す理念に従い、AD MAIUS PLETATIS INCREMENTUM (より以上に敬虔な態度の育成増大に向つて) というラテン語の各頭文字 A.M.P.I. が校旗等に掲げられている事からも分る通り、キリスト教倫理を根柢として神親、国を愛する有能な国民を養成する事を目標としている。初代学長は同会の現日本管区長、本学園理事長フエリシヤノ・ペレス師(在横浜)であり、現在は二代目校長エンリケ・リベロ師の下に四名の司教と二十数名の日本人教諭が教鞭をとっている。昭和三十四年九月一日鉄筋コンクリート三階建の新舎第一期工事完了、更に昭和三十六年十月一日には新舎本館第二期工事も完成して十月二十八日に古屋司教による祝別式が盛大に行なわれた。

エスコラピオス学園

海星高等学校 校長

エンリケ・リベロ神父



エスコラピオス会は一九九七年ローマにおいて聖ヨゼフ・カラサンシオによって創立された世界的な教育修道会である。聖ヨゼフ・カラサンシオは一五六六年スペインのペラルタ市長の次男として生まれ、大学では神学、哲学、法学を学んで博士号をう

け、一五八二年司教に叙品された。一五九二年ローマに渡つたが、彼はこの町の中で見聞した無教育な下層階級の子供達の粗野な言葉遣いや野蛮な行ないに深く心を痛め、司教にも大学教授にもなれなかつた。あらゆる出世の道を捨てて恵まれぬ子供達の教育に生涯を捧げる決心をした。そして一五九七年聖ドロテア教会に始めての学校を開設、一六一七年に教育活動を目的とするエスコラピオス会を創立した。十七世紀とい

えば、学問は専ら上層貴族階級の子弟のみに許された特権的な事であった。それを聖ヨゼフは一般の階級又は下層階級の子弟の為にこそ教育が必要である事を痛感し、かかる子弟を対象とした学校をつくり、又当時排斥されていたユダヤ人の子弟の入学も認めた。又貧困家庭の子供は無料で入学させ、更に、卒業後すぐ就職して生活の為に働かねばならぬ者の為に、現在の商工業学校で行なっているような実用的な技術教育をもほどこした。こうした事は当時としては、よほどの決断と犠牲を必要とする、ヨーロッパにおいてはすべてが始めての試みである革新的大事業であった。聖ヨゼフこそ貧しい子供達や、見捨てられた弱い迷える子供達をキリスト教的愛情をもって導き守つた真の父であり、友であり、教師であった。彼が全世界のカトリック学校の保護の聖人とされていくのも尤もな事である。エスコラピオス会の精神は、正に聖ヨゼフ・カラサンシオのすばらしい生涯と彼の類なき愛による教育理念を基礎としてゐる。現在、同会は全世界で会員約四千名を数え、総本部はローマ

本校には二種類の奨学資金制度があり、課外活動のクラブにはスペイン語クラブがあるとか、或いは本校生徒が各地の英語論大会で、毎回優秀な成績を収めるといふ事も、他校にはない本校の特徴である。

盛大だった聖体大会

— 教 区 —

十月最終の主日「王たるキリストの祝日」(二十八日)には、京都教区においてもノートルダム小学校並びに大学で聖体大会が行われた。午前十一時より講堂に準備された祭壇で、メリノール会管区長ウィッティ師司式、萬木師(伏見教会主

新任日バチカン公使

カーニヤ大司教

教皇ヨハネ二十三世は、十月十三日、モンセニョール・マリオ・カーニヤ師を、ヘラクレアの名義大司教にあげ、駐日バチカン公使に任命した。カーニヤ大司教はイタリアの生れ、ベルギーと、イタリアのバチカン大使館に勤務していた。

命されたもので、一九六〇年一月から二年半余りの任期中、日本の教会の発展につくし、北海道から奄美大島に至るまで視察され、熱心さと慈父のやさしさで信者達から慕われていた、その在任中に大分、名古屋、新潟の三知牧区が司教区に昇格、平田、松岡伊藤三司教が誕生して、日本全教区の教区長が全部司教となっている。

母の思い出

メリノール会司祭ボソレー師の御母堂は、去る九月九日(日曜日)同師の故国の聖ヨゼフ教会で御ミサにあずかり、聖体拝領した後突然倒れ病院に運ばれたが間もなく死去された。同婦人の追悼ミサが九月十七日午後七時より西院教会にてボソレー師司式により行われ、参列した多くの人々に対して同師は説教の中で、信仰のある者にとって死が勝利であり、聖パウロの教えるように死は悲しむべき事ではなく永遠の生命を味わうための入口である事を説かれた。

後日、同師は母の思い出について次のように語られた。
「幼い時に受ける印象はたいがい長年続きます。これらの印象は主に自分の両親から与えられた事でございます。何故ならば私達個人々々に

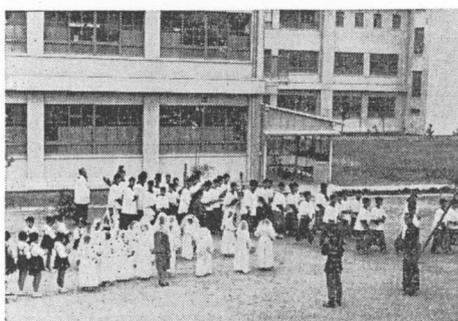
(任) 助祭、レル師(ウィアートル会管区長) 副助祭により荘厳ミサが捧げられ、丸山師(司教総代理)の司教職に関する説教がありミサ中各教会代表者から霊的花束の奉獻があった。十二時半から聖体行列に移り大講堂の正面及び玄関に準備された



祭壇で聖体降福式が捧げられ、盛大に式典を終えることが出来た。当日市内外各教会より約三千人の信者が参集、王たるキリストをたたえ、公会議の成功と教会の発展の為に共に祈りを捧げた。



当日奉獻された霊的花束は、公会議出席のためローマに御滞在中の司教様に送られた。午後一時より同校運動場で親睦会が行われ、四時過ぎまで楽しいひとときを過ごした。



奈良の教会では去る十月二十五日より二十八日迄四日間ミッシェンが行われた。ミッシェンとは特別な黙想会で一般信者の為、定められた期間中、普通の生活を続けながら朝晩特別の説教を聞き、人生の最も重大な問題や、神様に対する愛、殊にキリストの私達と対する愛について黙想するのである。それによって信者達が一層心を清め、もっと熱心に祈り、信愛の心を深め立派な信者になることを目的とするのである。今回のミッシェンには始めから熱

心に参加する者が百名以上にのぼり最後の日に参加した全ての人が全免償を受けたことは奈良の教会にとって大きな御恵みであった。ミッシェンは左記の計画によって行われた。
行事内容 指導司祭 岡淑人神父
十月二十五日 木曜日
午後七時一七時三十分黙想入門、七時三十分一八時ミサ聖祭、八時一八時三十分説教
二十六日 金曜日
午前六時三十分一七時ミサ及び一口説教、十時一十時三十分ミサ聖祭十時三十分一十一時説教一家庭の主婦、午後七時一七時三十分説教、七時三十分一八時ミサ聖祭、八時一八時三十分説教(結婚の約束の更新)
二十七日 土曜日
午前六時三十分一七時ミサ及び一口説教、十時一十時三十分ミサ聖祭十時三十分一十一時説教一子供教育、午後七時一七時三十分説教洗礼の意味(洗礼の約束の更新)
七時三十分一八時ミサ聖祭、八時一八時三十分説教一未来の準備
二十八日 日曜日
午前七時一ミサ及び説教家族の主なるキリスト、九時一説教十分ミサ聖祭、十時一十時三十分聖体行列及び聖体降福式午後六時一ミサ説教、生きたロザリオ

黙想会

若い女性のため

去る十一月四日、草津の訪問員会では岡神父指導の下に午前九時半より、看護婦さんを中心とした若い女性のための黙想会を行なった。九時半、十一時、午後二時の三回に亘り説教があり、午後四時のミサ聖祭を以て終了した、参加人員は三十名で大阪、神戸から参加したものもあり、神に仕える道を新たに確認し、将来への希望に燃えて帰路について、黙想中の休み時間を利用してシスター達に話す機会を得たことは一同にとって大いに有意義であった。

一番近く、そして又その関係はもっとも親密であるからです。母から受けた私の最初の印象は十字の印を切る事を教わったことでした。又家中の壁に掛けられてあった十字架、御尊をながめ、それに対する、とるべき尊敬と慎しみにてよく話してくれました。

母はいつもやさしい人で、お祈りをすることを愛していました。そして又レズンプロトル会の修道士の聖ジェラルド・マイエラに対する尊敬と愛を教えてくれました。又よく母は私達を家庭祭壇の前に跪かせ、マリア様に向って家族と自分のために何かの恵みを祈らせたことを覚えていました。

日曜日のミサ聖祭にあずかる事は食べるよりも大切だと云った事は勿論でした。かりにもミサ聖祭に行きたくないと言ったり、あるいは遅刻をしますと司祭の怒りを招くよりも

ひどく両親の怒りを受け、その上両親の大きな手の掌で打たれることは確かでした。又ミサ聖祭にあずかる時はその時間と一緒に与かる人がいつもまわっていました。男の子は父と一緒に早いミサに与かり、妹は母と共におそい時間に与かる習慣がありました。

私の覚えてる限り両親は両親だけでミサに与かった事は一ぺんもありませんでした。夫婦と一緒にミサに与かる喜びを味わうのは子供達が成長してから後のことです。それの道に入ってから後のことでした。

私達はカトリックの小・中学校へ行く恵みを受けました。勿論子供で怒らせたり、しかられたりし、文句を言ったのでした。私はある時行儀を悪くしてシスター様よりしかられたら、寛大な気持ちを持ってどんな儀

第二回コングレス

レジオ京都コミチウム

去る十一月十一日(日曜)午前九時半よりレジオ京都コミチウムでは左京区鹿ヶ谷ノートルダム女学院において第二回コングレスを開催、同コミチウム所属の二十七レシディウムから約二百名の会員其他司祭、修道女多数参加して左記の如きプログラムに従って行われた。

(午前の部)

九時三十分 開会の祈

十時 第一討議

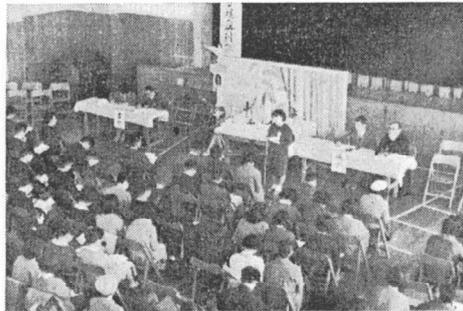
一 神秘体の母聖マリア」提要、第31章レジオ会員とキリストの神秘体

a) 聖母マリアはその生涯中、キリストになをされたか

b) 聖母マリアのなされたキリストに対する扶養

キリストに対する扶養 愛

キリストとご一緒に、またキリストのための苦悩に



レジオ会員は、キリストの神秘体に対してどのように見習うことができるか
十一時三十分 ミサ及び説教……小野神父(河原町三条教会助任)

十二時十五分 昼食

(午後の部)
十三時三十分 カテーナ第二討議

「プレシディウム、ナザレの神秘的な家族」提唱、第31章4ナザレの聖家族

a) プレシディウム集会におけるナザレの精神

b) ナザレの聖家族の素質およびプレシディウム会員の素質

c) ナザレの聖家族の精神に従ってゆくレジオ会員

d) ナザレおよびプレシディウムにおけるチーム・ワーク

祈「元后あわれみ深き御母」

十五時 お茶

十六時 聖体降福式……徳久神父(レジオの教区総指導司祭)

「終了の祈」聖歌

十六時二十分 閉会の辞

尚、同コングレスはレジオの根本原理に関する認識を深め、会員として仕事の動機、仕事の精神を固める為に三、四年に一回開かれるものである。

教会と市民が一体

キリシタン大名氏郷まつり賑う

一 松坂教会一

松坂カトリック教会では去四日、松坂市開府の祖である蒲生氏郷を偲ぶ、氏郷まつりに参加協賛して、キリシタン大名レオ氏郷を大いに顕現し、布教の見地から効を奏するところがあつた。即ち市商店街連盟では全市あげての秋まつりとした熱意をもってこれが開催にあつた。経費四十万円を投じて時代行列のパレードを実施することになった。これに参加する教会は女御行列として、氏郷公の妻冬姫を中心とした安土桃山時代の紛装で街中をねり歩いた。地方には珍らしいこの行列は人氣上々、約六万の見物衆で朝の十時



から夕方まで街はこのまつり一色にぬりつぶされ、市内目抜通りの交通は完全にストップ、整理にあたる警官も汗だくだった。松坂市長が氏郷に紛れて馬に乗り、続く武者達二十三名は商店街のだんな衆、教会側は牛に乗った冬姫を中心に二十名、キリシタン大名ののぼりを先頭にして生りの鼓笛隊八十名、花笠の少女が屋台を引き、続く道中踊り、婦人会、井上流舞の会等総勢三百名に及びこの行列は商店街の主権とは云え、一見、カトリックの行事の如き観を呈し、各新聞はもとよりテレビニュースも数ある文化の日の行事の中から

行列のゆく所、人で一ぱい

氏郷に紛る梅川市長とレオ・スタインバック神父

取材するテレビカメラ

MEDITATION OF THE MONTH

"THE BIRTH of an INFANT"

Every one in the world loves a baby. And so God wishing to make it easier for us to love Him came into the world as a Baby. "And the Word was made flesh and dwelt amongst us," that we might see with our bodily eyes the Glory of heaven in the Flesh of an Infant.

月の黙想

みどり児の御誕生

世の中で赤ちゃんを愛さない人は一人もありません。神様は私達がたやすく神様をお愛することが出来るように、可愛らしいみどり児の姿をして此の世にお出でになりました。私達がこのみどり児の中に天国の光栄を肉眼で見る事が出来るように。「御言葉は肉となり私達の中に住み給うた」のであります。

特にこのまつりを大々的に報道した。因に、他人のふんどしで相撲をとる。と云う諺があるが、損得は別として、一般市民と教会が一つの行事で一体となり、教会が市民との深いつながりを持ち得る最大のチャンスであった。

参加を感謝と喜びをもって新聞紙上を通じて賞賛し、来年度からぜひ市の主権として毎年盛大にこの氏郷まつりをしたいことを公に発表した。なおこのまつりの付帯行事として写真展が商工会館において催され、多数の写真が出品され優秀者には市長賞はじめ各商店関係新聞社の賞が与えられた。

教会便り 第一回文化展

一 鈴鹿教会一

十一月一、二、三の三日間鈴鹿教会では使徒会主権のもとに第一回文化展が開かれた。これは一般の人々

が教会を知り近づく機会として一つの布教を目的としたものである。内容は日本考古物(千点程)、それにキリスト教的美術と題して人間開闢より現代までの神の計画と人間よりの神への捧げもの、そして完全

なキリストの犠牲と現在のミサ聖祭との継続、それに使われる祭具の説明、ミサ用具は特別に京都教区の西陣織五大紡績会社より出品された豪華な祭服等は人々の目をひいた。又現代カトリックの現状と題して日本各国からカトリックの重要な建物とその事業の写真を集め、これを電気装置によってパノラマに結びつけた。これも人々の興味の的となつた。これらは教会の一つの大事事となり使徒会をはじめ壮年会、婦人会全会員一致の協力により出来上つた。この結果多数の一般観客があつたと共に三重県各新聞に写真入りで大々的に報道された事は、布教の目的にかなつた大成果をもたらした。この事業に直接又は間接的に御協力下さいました方々にこの紙上を通じて厚く御礼申し上げます。

ヴェリタス書院発行の良書

新刊 リジュの聖テレジアの《小さい母》
— イエズスのアグネス童貞 —
リジュ・カルメル修道院 版
パウロ・エグリ 校 閣
B6 283ページ ¥ 350

本書は聖テレジアの姉ポリナリジュ・カルメル修道院の終生院長、イエズスのアグネス童貞の生涯とその霊的面影を描写している。聖女テレジアについての認識を深めるに役立つ良書。

新刊 神の国の証人たち B・カルパンテ イ著 B6 329ページ
— 修道生活の入門 — 山下房三 郎訳 ¥ 350

教会の証人であり、選民である修道者の生活の生活法典。

ロザリオで改宗

—松坂教会—

一人の靈魂の救いは、天においても地においても大いなる喜びである。これは九十才の一人の改宗の事例。

三重県松阪市殿町二七八、聖母の汚れなきみ心の教会(主任レオ・スタインバック神父)で、このほど受洗した辻文忠さん(九〇)が話題のその人。辻さんが、はじめて教会を訪れたのは一年半まえ、その時、彼は教理を聞きに来たというより、自分の信仰をとうとうと話しに来たといつてよかつた。彼は、やおよろず、の神はもとより、日蓮、天台、真言、天理、金光、稲荷などじつによく知り、祝詞(のりと)、太祝詞(おほらい)を唱え経文を読み、伊勢皇大神を崇敬し、さらにこれらを総合した自分独自の信仰をもち、一人一宗派を唱え、有名無名の信者といわれて、自他ともに「先生」といわれて、祈禱を生業としてじつに六十年をすごして来た人だった。

カクシヤクたる健康体で百二十才まで生きているといつて、容易にカトリックの教えに耳をかたむけようとは思えない。だが、神父さんの善業を新聞で読んだので、近くまで来たついでに教会に立ちよつたというのだ。

その後、神父さんのすすめで要理クラスに参加するようになった辻さんは、多くの宗教を学んでいただけに理解も早かつた。すぐ、初めもなく終りもなく永遠にましまし、天地の創造主である唯一の神を理解した。神の啓示にもとづく教えの前には、さすがの辻さんの論理もかけがえなく、反論の余地もなく、唯一絶対の神を認めるようになってきた。

心のスカバラリオを辻さんに持たせた神父さんは、まず祈ることを実行させ、彼のために祈られた。

この祈りは彼の心へ少しづつ、信仰の光をたらすようになってきた。そのうちミサにも与かるようになった。しかしまだ困つた問題が残つていた。辻さんは祈りはするが、いっしょに他の宗教の祈りを唱え、今まで、おがんで、きたものを止められないという。しかも辻さんの毎日はたいへん忙しい。もうもろの神仏の祈りに一時間はかかるころへ、も一つ、聖母マリアへのロザリオが加わつたのである。

分かつては止められない異数の祈りと、しないでは気がおちつかないロザリオの祈りの、二足わらじの期間が、一年以上も辻さんにつづいた。しかしついに聖母マリアへの祈りによってイエズス様も辻さんの心の奥深くその光を照らされるようになった。

八月、聖母被昇天祭もおわつたあと、辻さんは教会へきて、「神父さん、決心しました。もう何もいふことがありません。私に洗礼を授けてください。」とけんそんに頼んだのである。「では、真の神、イエズス様だけをおがみますか。」これは、神父さんが何回となく辻さんにいつてきた言葉で、そのたびに「いいえ、それはできません。」と首を横にふり続けてきたのだが、その日の返事は違つていた。「はい、神父さんは一切委せます。他のものはおがみません。」と、はっきりうなずいたのである。

辻さんは二百年近くも続く旧家。神父さんは辻さんと同道、その家へ行って、諸神、諸仏、守り札など、その大きな祭壇から一切片づけて一つの祭壇に、十字架と仏像に代わつて聖母の御像を安置し祝別された。その時、片づけた諸神のものは十四宗派あり、それを毎日、辻さんがおがんできていたのだ。辻さんがおがんで救われる。ああ、気がさつていいした。」と辻さんはいつたという。

九月一六日の主日、教会では、敬老会があつたが、その中の一つの行事として、辻さんの受洗式が、いま一人の八七才のおばあさんといつしよに、百四十人の老人の息まもるうらに行なわれた。

「ありがたわい、こんなうれいこととはない。なぜ私はもつと早く洗礼を授けられなかつただろう。」と、会う人ごとに辻さんは話しかけていたが、その翌日、教会まで八キロの道

一つ正式なクラブとして再出発することにになりました。その陰には、同大に於て、同じキリストに從う者の集りであるS.C.A.(基督者学生會)の方々の協力を皆様方に告げねばなりません。

「心のともしび」ラジオ・テレビ放送番組

ラジオ京都	JOB R	京都
	JOB O	舞鶴
	JOB E	福知山
	JOB W	滋賀
東海ラジオ	JOS F	
関西テレビ	第八チャンネル	
東海テレビ	第一チャンネル	

月々土 午後六時十五分
月々土 午後四時五〇分
毎日曜日 午前八時二十五分
毎日曜日 午前八時二十分

赤い羽根募金奉仕 十一万四千円

松坂カトリック教会では毎年十月に街頭に進出共同募金に協力しているが、募金成績は各宗教団体に比し最も成績がよく、本年は十一万四千二百七十円これについで天理教が六千二百三十円、仏教連合会が四千七百五十円。

「おわび」

十月二十八日京都ノートルダム学院で行われた聖体行列が意外に盛大であつたことはそれだけに準備も充分に出来ていなかったの参加された人々にいろいろな点で御迷惑をかたことを今年の実行委員一同時報紙上をかりて深くお詫言申上げます。

「時報」の紙面を貸りて、同志社大学カトリック研究会(略称同大カトリック)を紹介し、皆様方の理解と協力ををお願いしたいと思ひます。

者が集るだけでも、有益です、それに止まらず、私達は、カトリックの目的に、一歩でも二歩でも近づこうと日夜努力しています。

特に遠隔の教会からバスで参加された方達の中に不愉快な思いをされた方がおられると思ひますが、寛容の精神をもつてお許しを頂きたいと思ひます。

編集室より

「教区時報の責任者」先月号(第六号)でお願い致しました連絡責任者を至急に決めて頂き係りまで御連絡下さい。

原稿の締切りは毎月十日まで。記事はニュースの他に美談、失敗質問、こぼれ話等もどしどし。原稿については紙面の関係上前方で取捨することもあります。御了承願う。